

GUITAR AMPLIFIER

# BOLT・60

VACUUM  
TUBE

## 取扱説明書

このたびは当社製品をお買いあげいただきありがとうございます。  
この説明書をよく読んで正しくお使いください。

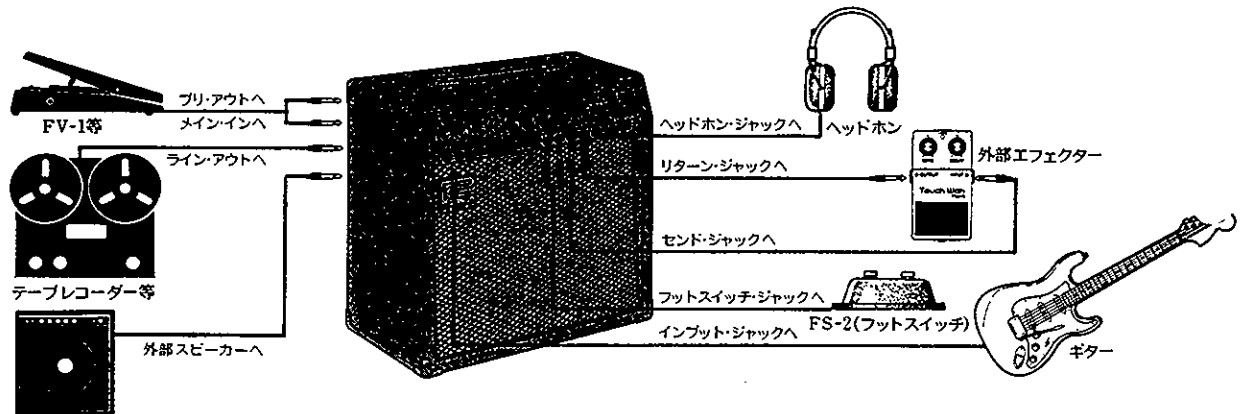
 Roland



## 特長

- 定評ある米RCA社製真空管と新開発の高耐圧ローノイズFETを採用し、両方の良さを生かしたウォームなオーバー・ドライブ・サウンドが楽しめる出力60W(R.M.S.)のモデルです。
- オーバー・ドライブ/ノーマルの2チャンネル方式の採用、フットスイッチの装備でライブなどに威力を発揮します。
- エフェクト・ループシステムの装備でエフェクターの特性をフルに生かす接続(4種類)ができ、アイデアによっては意外な効果も狙えます。
- 甘い艶のあるソフト・ディストーション効果、米OCE社製3本スプリング方式でクリアな残響効果が得られるリバーブを装備しています。
- 前面にジャックシステムを採用、より使い易くなり、ライブなどには便利です。

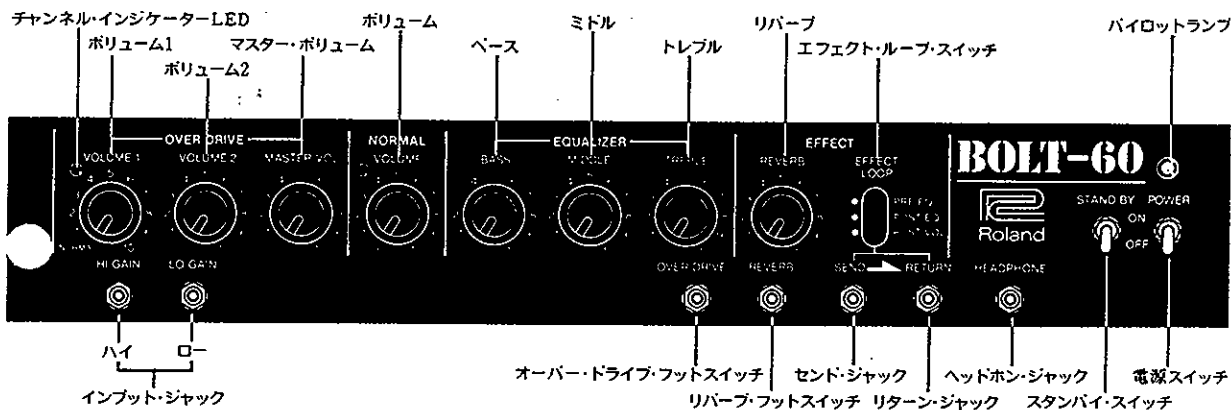
## 接続のしかた



## お使いになる前に

- 電源電圧が90V以下または、110Vをこえるところでは電圧調整器で100Vにしてお使いください。
- 外国で使われる場合は、まえもってローランドサービスにご相談ください。

## 各部の名称とはたらき コントロールパネル



### チャンネル・インジケータ-LED

オーバー・ドライブまたはノーマル、どちらか一方動作している方のチャンネルLEDが点灯します。

**ボリューム1、2 マスター・ボリューム**  
それぞれ音量を調節するつまみです。右(○)にまわすと増強し、左(○)にまわすと減衰します。オーバー・ドライブ・チャンネルがONの時のみ働きます。

**ボリューム**  
音量を調節するつまみです。右(○)にまわすと増強し、左(○)にまわすと減衰します。ノーマル・チャンネルがONの時のみ働きます。

### ス

低音域の音質を調節するつまみです。右(○)にまわすと増強し、左(○)にまわすと減衰します。

### ミドル

中音域の音質を調節するつまみです。右(○)にまわすと増強し、左(○)にまわすと減衰します。

### トレブル

高音域の音質を調節するつまみです。右(○)にまわすと増強し、左(○)にまわすと減衰します。

### リバーブ

残響音を調節するつまみです。右(○)にまわすと増強し、左(○)にまわすと減衰します。

### エフェクト・ループ・スイッチ

センドリターン間につないだエフェクターの接続位置を変えられます。

**PRE EQ.** イコライザ回路の前につながります。

**POST EQ.** イコライザ回路の後につながります。

**POST VOL.** ボリュームを通った後につながります。

### パイロットランプ

電源スイッチを「ON」にすると点灯し、動作状態にあることを表示します。

### 電源スイッチ

「ON」の方向にすると動作状態になります。

### スタンバイ・スイッチ

このスイッチがOFFの状態では電源スイッチをONにします。約20秒で真空管が動作状態になります。楽器を使用する直前にこのスイッチをONにします。

### インプット・ジャック

ギターの出力に応じ、ハイ・ローを選択できる2入力方式です。通常「ハイ」に接続します。特に出力の大きいギターの場合「ロー」に接続します。

### オーバー・ドライブ・フットスイッチ

フットスイッチを接続してオーバー・ドライブとノーマル両チャンネルの切替ができます。但し、ボリューム1がノーマルの位置にあるときは、フットスイッチの切替に関係なくノーマルチャンネルが動作します。

### リバーブ・フットスイッチ

フットスイッチを接続し、ワンタッチでリバーブのON/OFFができます。

### センド・ジャック

エフェクターを接続するときエフェクターの入力(IN PUT)へつなぐジャックです。

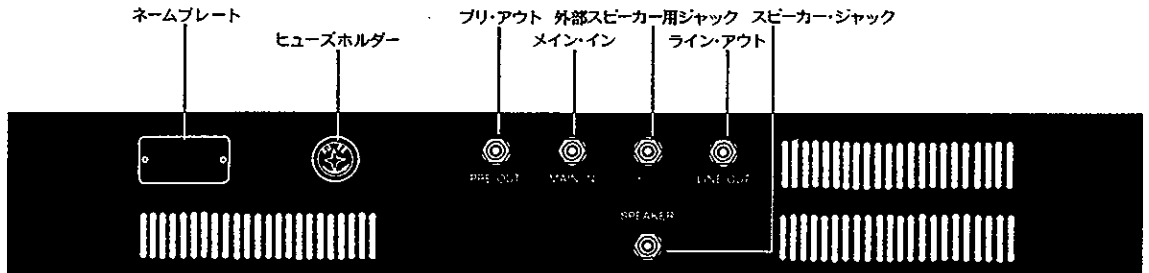
### リターン・ジャック

エフェクターを接続するときエフェクターの出力(OUT PUT)へつなぐジャックです。

### ヘッドホン・ジャック

ヘッドホンをジャックに差し込むとスピーカからの音は消えるので夜でも十分に演奏を楽しむことができます。ステレオ・ヘッドホンまたはモノラル・ヘッドホンが使用できます。

## リヤパネル



### プリ・アウト

プリアンプのアウトプットです。他のパワーアンプを使用するときに接続します。

### メイン・イン

プリ・アウトとメイン・インの間にボリューム・ペダル(FV-1等)を接続することにより、音

質を変えずに音量のみを加減できます。また、他のエフェクターも接続できます。

### 外部スピーカー用ジャック

8Ω以上の外部スピーカー・システムを接続し、本体および外部スピーカーを同時に鳴らすことができます。

### ライン・アウト

他のギターアンプのライン・インやPAミキサーに接続したり、テーブデッキに接続してレコーディングもできます。

### スピーカー・ジャック

スピーカーへの接続ジャックです。

## 操作方法

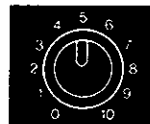
- 電源スイッチ、スタンバイ・スイッチが「OFF」になっていることを確かめてからACプラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にするとパイロットランプが点灯します。
- 約20秒ほど待つてから、スタンバイ・スイッチを「ON」にします。

### 3 ノーマル音の出し方



ボリューム1をNORMALの位置にセットします。  
ノーマル・チャンネルのボリュームで音量を調節します。

### 4 オーバー・ドライブ音の出し方



ボリューム1を右にまわし、ボリューム2、マスターボリュームを適当な音量に調節します。

## セッティング例

### 1 歪みのないノーマルなサウンド

ボリューム1を左にまわし切り、ノーマル・チャンネルのボリュームで音量をコントロールします。



### 2 サスティンのよく効いたハードなサウンド

ボリューム1、2を「10」にセットし、マスター・ボリュームで音量をコントロールします。



### 3 パワフルでオーバードライブされたサウンド

ボリューム1、マスター・ボリュームを「10」にセットし、ボリューム2で音量をコントロールします。



### 4 ソフトなディストーションでメリハリのあるサウンド

ボリューム2を「7位」マスター・ボリュームを「5位」にセットし、ボリューム1で音量をコントロールします。またボリューム1とマスター・ボリュームを相互に動かしてバランスのとれたセッティングにします。



## うまく使いこなすために

新しいアイデアによるエフェクト・ループ・システムを採用しています。使用されるエフェクターの種類や好みに応じて、セレクター・スイッチを切替え、音作りを発展させてください。

### ●PRE EQ

この位置で外部エフェクターを通った音もEQでコントロールできるため、エフェクターの効果をより強調したい時に使用します。この場合トレブルを上げ過ぎると、エフェクターのノイズも強調されるので注意してください。

### ●POST EQ

この位置はEQで音作りされた音が外部エフェクターに入るためトレブルをフルに上げててもエフェクターのノイズが増すことはありません。

### ●POST VOL

この位置でEQおよびボリュームによる音作りがすべてされた後へエフェクターが入ります。通常はこの位置または、POST EQでご利用ください。

## 注意

- 真空管は放熱を良くするため、シャーシの外側に取り付けられています。そのためパワー・スイッチが「ON」の場合や「OFF」の後、約15分位はアンプの裏側に手を入れないでください。
- アンプや楽器の近くにネオン・蛍光灯などがあると雑音の原因になりますので位置を離してください。またギターの向きを変えると雑音が少なくなることがあります。
- アンプのボリュームを大きくしたままで電源プラグを抜き差しするとスピーカーに大きな負担がかかり、破損するおそれがあります。これらの操作はボリュームを(0)にしてから行ってください。
- 楽器をアンプにつなぐときは楽器側のプラグを先に接続しアンプ側をあとで入れてください。切り離すときは反対にアンプ側から先に抜きます。
- アンプには強い衝撃を与えないでください。また作動中にアンプを移動することは避けてください。
- 湿気や塵のある所での使用は、故障の原因になります。
- アンプが汚れた時は、中性洗剤で拭き取ってください。  
※シンナー類の使用は避けてください。
- ヒューズ交換の際は必ず当社規定のものを使用してください。

## サービスマンをお呼びになる前に

正常に動作しない場合は、次の表に従って処置してください。主に使いかたの間違ひによる症状を示しましたが、これらの処置しても直らない場合、または表以外の症状の場合は本社サービスにご相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源スイッチを入れてもパイロットランプがつかず音も出ない	電源コードの接続不完全	電源コードを完全に差し込む
ランプはつくが音が出ない	スタンバイ・スイッチが「OFF」になっている	スタンバイ・スイッチを「ON」にする
	ボリュームが下がっている	適当な音量まで上げる
フットスイッチでチャンネル切替ができない	ボリューム1がノーマルの位置になっている	ボリューム1を右にまわし適当な位置にする
リバーブがかからない	フットスイッチが「OFF」になっている	フットスイッチを踏み込み「ON」にする
	リバーブ・ボリュームが下がっている	リバーブ・ボリュームを適当な位置に上げる

## 主な規格

BOLT-60 取扱説明書 1982年10月印刷A-3

出力	60W(R.M.S.)
スピーカー	30cm×1
チャンネル	1
インプット・ジャック	ハイ、ロー、メイン・イン、リターン
コントロール	ボリューム1・2、マスター・ボリューム、 ボリューム、ベース、ミドル、トレブル、リバーブ
スイッチ端子	フットスイッチ(オーバードライブ/ノーマル、リバーブ) エフェクト・ループ・スイッチ、 電源スイッチ、スタンバイ・スイッチ
アウトプット・ジャック	ブリ・アウト、ライン・アウト、センド、スピーカー・アウト、外部スピーカー
消費電力	99W
外形寸法	500(W)×470(H)×280(D)mm
重量	23kg
付属品	ビニールカバー

※規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



### 本社

- 大阪市住之江区新北島3-7-13 〒559/Tel.06(681)8661
- 営業所
- 東京/東京都千代田区外神田3-9-8 〒101/Tel.03(251)5595
- 名古屋/名古屋市中区新栄1-49-18 〒460/Tel.052(241)4332
- 福岡/福岡市博多区博多駅前3-18-6 〒812/Tel.092(471)1481
- 仙台/仙台市本町1-10-12 〒980/Tel.0222(25)6221
- 広島/広島市中区安町2-25 〒730/Tel.082(247)2731
- シンセサイザースタジオ
- 東京都千代田区外神田1-11-6 小暮ビル5F 〒101/Tel.03(257)1301
- 東京ショールーム
- 東京都文京区湯島1-1-10 〒113/Tel.03(251)0245
- 大阪ショールーム
- 大阪市北区梅田1-2-2-200 大阪駅前第2ビル2F 〒530/Tel.06(346)0552